

人口減少・地域縮小・議員のなり手不足解消に繋がるか

休日・夜間を活用した議会運営・改革への挑戦  
～長野県喬木村議会の取り組み～

喬木村議会

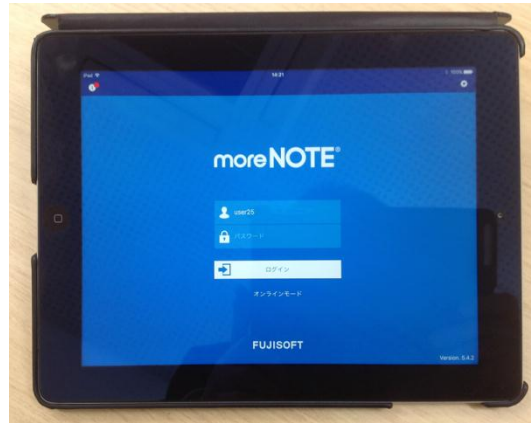
# タブレット端末の利活用について

説明者：喬木村長 市瀬 直史

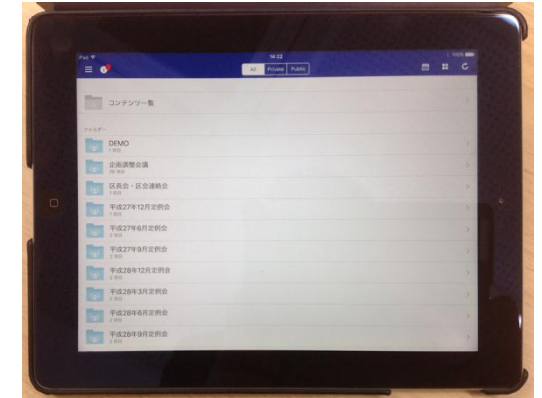
# タブレット端末を活用した議会運営



moreNOTE5を選択  
クリックして下さい



パスワードを選択  
takagai 01を入力  
ログイン



フォルダを選択  
クリックして下さい

平成26年臨時会よりタブレット型端末の試験導入を始めた。紙の資料配布の代わりにタブレットに資料内容を表示し、紙代を節約できる。ペーパーレスを目指す狙いで市瀬直史村長が提案し実現。現在、台数を増やし課長会議などでも活用している。

## タブレット端末の操作

- ① 先ず発表者は発表者ボタンを選択。発表者がして画面操作すると発表者以外のタブレット画面が連動して同じページを表示します。
- ② 画面下にあるツールを選択して矢印、色鉛筆を活用して強調したい部分や重要な部分に下線を引いて説明することができる。
- ③ 発表者のペースで説明できるので、画面切り替えは発表者側で行うことができます。
- ④ 画面表示が小さい場合は、二本の指で拡大・縮小が手元で自由に操作できる。

## タブレット端末導入のメリット

タブレットは議案が表示できる。予算書や決算書、例規集(800ページ)なども電子データ化し、専用のアプリケーションを起動することで閲覧できる。

端末は全議員12人らに行き渡るようタブレット15台を購入した。購入費は約67万円。現在は、Windows端末を活用している。

議員は議会活動に活用することができるが、現在の端末は通信環境の強靱化により役場・議場・委員会室の限られた環境でしか使用できないことが課題。

タブレット端末の活用で無駄な時間や経費を削減できる上、文字の拡大縮小が自由にできる。会議データの保存に優れている。

## タブレット端末導入のメリット

資料は定例会になると1人当たり400～500枚になるとされ、試算だと、本格導入となれば年間50万円ほど削減できる。

村は役場庁舎の増改築に合わせて無料の公衆無線LANサービス「WiFi(ワイファイ)」の通信環境を整備したことで検索が素早くできたり議場内で同時に閲覧できる。

情報化社会に対応するだけでなく、業務の省力化にもなる。

# タブレット端末を活用した議会運営（全員協議会）



平成29年6月27日 初議会本会議終了後の全員協議会  
会議における報告事項については、タブレット端末を活用して  
行っています。説明者がページをめくると連動して全員の画面が  
同じように画面が変わります。

# 夜間・休日議会開催への取り組み

説明者：喬木村議長 下岡幸文

議会運営委員会へ諮問まで



## 夜間・休日議会の導入を決定した要因(選挙結果)

平成13年6月執行村議会議員一般選挙 無投票 定数18人

平成17年6月執行村議会議員一般選挙執行 定数12人

平成21年6月執行村議会議員一般選挙 無投票 定数12人

平成25年6月執行村議会議員一般選挙執行 定数12人

平成29年6月執行村議会議員一般選挙



**無投票**  
定数12人

# 改選後の初議会の様子



平成29年6月本会議場において議長選挙・副議長選挙を前に所信表明することに関心を寄せたこともあり、本会議（開会日）は40数名の傍聴がありました。

無投票により改革の機運が高まりました(前回の原因)

平成21年6月執行村議会議員一般選挙 **無投票** 定数12人



議会改革検討委員会を設置「開かれた議会の実現」に向けた取組



住民がより身近に議会に参加できる環境づくり、傍聴できる仕組みづくりとして「夜間・休日議会」の検討が俎上に載せられた。

**当時は職員の人的負担・超過勤務等の経費負担が話題になるだけで取り組むまでに至らなかった。**

無投票により改革の機運が高まりました(前回の結果)

住民がより身近に議会に参加できる環境づくり、傍聴できる仕組みづくりとして「夜間・休日議会」の検討が俎上に載せられた。



## 喬木村議会基本条例の制定(平成24年12月)

- ・住民と議会との関係、議会(議決機関)と村長(執行機関)の関係について明記された。
- ・議会報告会の開催目的を明記された。
- ・議会モニターの設置について明記された。
- ・一般質問における反問権について明記された。

無投票により改革の機運が高まりました(今回の原因)

平成29年6月執行村議会議員一般選挙 **無投票** 定数12人

**原因は？**



**人口減少・少子高齢化進行による地域コミュニティの縮小**



今まで議員は地区推薦により輩出してきたが、2つの地域で候補者が立てなくなってきた。(加々須地区・大島地区) 当選に必要な得票数の問題・後継者の問題。

候補者が出せなくなった地域から再び候補者が選出されることが困難な事が懸念される。

無投票により改革の機運が高まりました(課題の検討)



①議員定数は12名でよいのか？住民の声を反映できるのか？

②議員報酬だけでは生活することができない。

③議員年齢に偏りがある。(若者の議員がない。)

④議員の多くが退職者・自営業者・政党関係者である。

無投票により改革の機運が高まりました(課題の検討)



⑤地区推薦できなくなった地域の声を拾えるのか。

⑥議員の役割・活動が住民に伝わっていない。

⑦本業と議会活動の両立できる環境づくりが必要ではないか。  
働き方改革を推進することで、会社員、子育て中の母親も政治参加できるのではないか。

## 無投票により改革の機運が高まりました(現状把握)

	改選前		改選後
①議員定数	12名	➡	12名 男11名、女性1名
②平均年齢	66.6歳	➡	64歳 70代4名、60代5名、 50代2名、40代1名
③職業	農業9人 自営業3人	➡	農業6名、専業農家1名、自営業1名、会社員2名、団体職員1名、介護支援専門員1名

幅広い年代層、多様な職種、多様な立場の皆様が議論を尽くし、「より良い住民自治のための施策提言できる議会」を目指すことが大切。兼業議員のための環境整備が必要であるという結論に至った。



# 喬木村議会活性化の基本的な考え方

1. 議員の職務は住民の声を聴き、村政の監視機能を図るとともに、これからの喬木村づくりのため、政策立案・提案機能の強化に努める。
2. 幅広い層の男性や女性が議員として参加し、多様な考えや意見を村政に反映させることが重要。
3. 喬木村議会議員は多様な人材の確保の方策として、兼業議員による議会を目指し、兼業議員が活動しやすい環境づくりを目指す。

平成29年7月29日下岡議長が議会運営委員会へ諮問

# 夜間・休日議会開催への取り組み

説明者：議会運営委員長 後藤 章人

議会運営委員会の答申

# 夜間・休日議会の導入の取組みの検討

## 下岡議長が議長就任後議会運営委員会に諮問(15項目)

- ①定例会開催月以外の月の議員全員協議会、各常任委員会及び議員集会は、土曜日か夜間に開催してはどうか。(議員活動と個人の仕事の両立のため及び将来の夜間議会、休日議会の参考とするため)
- ②議会全員協議会は毎月月初め、企画調整会議のある日の夜7時からとしたらどうか。議会運営委員会は前の月の25日前後の夜。
- ③議員全員協議会への議員からの課題の提案は議会運営委員会の2日前までに行う。議会運営委員会で協議の上、議員全員協議会で論議する。議員全協の資料は副議長・議会運営委員長・議会事務局で協議の上作成する。
- ④各委員会の月毎の開催日時、開催内容は議会運営委員会へ文書にて提案し、議長の承認を得たうえで開催する。必要に応じて役場担当部署と予め協議し実施する。基本的に資料作成は委員長とする。また資料は事前配布とする。

# 夜間・休日議会の導入の取組みの検討

## 下岡議長が議長就任後議会運営委員会に諮問(15項目)

- ⑤毎月の議員全員協議会では広域連合会議等の報告、各委員長報告、各議員報告を行い、情報の早期共有を図るとともに、定例会時の全員協議会での報告事項の削減に努める。報告事項の資料は報告者が議員全員協議会開催2日前までに事務局へ提出する。
- ⑥議長、副議長は毎週、月～金曜日の10時～12時は議員控室(事務機の予備があれば設置)に出勤し、議員対応(提案の受付・議員活動の相談等)や請願窓口、住民対応、役場対応したらどうか。行事がなければ、月・水・金は議長、火・木は副議長。議員は週1回必ず来庁し、配布物を受け取るようにしたらどうか。
- ⑦議長の当て職について、必ずしも議長出席にこだわらない職は議会選出した議員が出席したらどうか。
- ⑧区や自治会の行事への出席要請は、議員個人の判断で。但し、文書配布等する場合は法的な問題等があるので、事前に議会事務局・選挙管理委員会書記局に確認することを義務付けたらどうか。寸志等金銭に係るものも事前に相談・確認することを義務付けたらどうか。

# 夜間・休日議会の導入の取組みの検討

## 下岡議長が議長就任後議会運営委員会に諮問(15項目)

- ⑨議会以外の議員出席要請に係る出欠席の判断基準と併せ服装の徹底が必要か。  
(議員バッジやネクタイなど)
- ⑩通常連絡や緊急連絡は携帯電話のメールで行う。メールを確認したことを必ず事務局が確認できるように返信する必要があるのでは。
- ⑪議会報告会は広聴委員会が主導してすすめたらどうか。議会運営委員会で担当委員長を決め、長が他の担当議員を指名し、準備を進めたらどうか。
- ⑫「リニア・三遠南信道特別委員会」「議会基本条例検証委員会」の今後のあり方についての検討をお願いしたい。

# 夜間・休日議会の導入の取組みの検討

## 下岡議長が議長就任後議会運営委員会に諮問(15項目)

⑬災害時の議員の行動マニュアルの作成が必要と思う。(警報発令後の召集等)

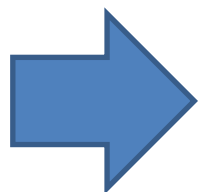
⑭一般質問は、初当選議員を考慮するとともに、議員の質向上を図る目的で、通告締切日より前に議長への提出と併せて事前ヒアリングを行ってはいかがでしょうか。

⑮互助会の会計及び各種調査、委員長報告・委員会開催・職員派遣要請・議員派遣・事業報告等については、議長副議長等決済が必要ではないでしょうか。

以上15項目について議会運営委員会で協議し、答申内容を最終的に議員全員に諮って決定した。

## 休日・夜間議会における議会運営委員会・議員全員協議会での意見

- ① 対応する職員の超過勤務手当等人的・費用的負担を考慮すると協議・研究が必要であり、12月定例会から実施することは早急ではないか。
- ② 3月定例会の当初予算審議、9月定例会の決算審議は審議に時間がかかることから2時間だけでは審議が終わらない。
- ③ 常任委員会を原則2時間で実施するためには、議案の読み込み等事前準備を充分しないとできない。
- ④ 改選したばかりで判断が付かない。一期目の新人議員6名、二期目の議員5名、議員の資質向上を図らないとできないのではないか。



平成21年の二の前。できない理由ばかり優先して  
いては何も変わらない。先ず一歩踏み出してはどうか。



# 議会運営委員会の答申（抜粋） 平成29年7月31日

①定例会開催月以外の月の議員全員協議会、各常任委員会及び議員集会は、土曜日か夜間に開催してはどうか。（議員活動と個人の仕事の両立のため及び将来の夜間議会、休日議会の参考とするため）

答申1 定例会開催月以外の月の議員全員協議会、常任委員会は基本的に土曜日・夜間開催とする。定例会本会議1日は夜間・土曜日開催とする。平成29年第4回定例会より実施する。

②議会全員協議会は毎月月初め、企画調整会議のある日の夜7時からとしたらどうか。議会運営委員会は前の月の25日前後の夜

答申2 議会運営委員会は前月の25日前後の実施。議員全員協議会は企画調整会議開催日の夜午後7時から開催する。



# 夜間・休日議会開催への取り組み

説明者：喬木村議長 下岡幸文

12月定例会へ向けた取組

## 議員全員協議会(平成29年8月7日)

議会運営委員会の答申に基づき、村長へ提出する「開かれた議会改革実現のための提言書」作成案、議会改革について協議した。まず夜間会議が2時間でできるかも試行的に開始した。

場所: 委員会室  
時間: 午後7時から午後9時  
会議出席者: 議員全員  
会議傍聴者: 信濃毎日新聞記者

# 村長への提言前に新聞に掲載されました

## 議会 夜間休日開催へ

### 求ム村議

喬木村 12月にも

地方議会の議員候補者選出には、高知県大川町で村議会を廃止し市権を回復する動きがある。村議選出の動きもあり、喬木村も国の注目を集めている。村議選出候補の田中元防衛相の関与と同時に、口報がなご河正に保管されなかったか問われている。

「日報」きょう閉会中審査  
 陸自の日報隠蔽を巡り、きょう閉会中審査。稲田元防衛相の関与と同時に、口報がなご河正に保管されなかったか問われている。――②④面

初めて愛を知る男を表現  
 韓国で人ヒットしたドラマの日本版「ごめん、愛してる」に主演の長瀬智也さんが役づくりを語る。――①⑥面

はかなさ 人生のように  
 半作菜の繊密な火薬の調合が、華やかではかなげな火花の表情を生む。福岡県みやま市の絨香花火。――⑩面

ダウン症の店長「やっちゃん」  
 ダウン症の「やっちゃん」が夢をかなえて開いたカフェ。そこは常連、近所ら皆で運営する店。――⑩面

同村の人口は一九九〇年代に七千人を越えていたが、二〇〇〇年以降は六千人台で推移。人口が激減し、地区によっては選出に必要数の確保が難しく、候補者を当てることができない。道志市町の村議選では、〇一年の九九年、今年六月の二回が無投票だった。

夜間や休日への移行については、政務村議会議長は「若い世代の若手、多様な意見を聞き取りたい」と、議会の活性化を期している。

議員のなり手不足懸念のため、政務村議会議長（定数二）が、一機西側を等分して議決した定例会の主権日権を夜間や休日に移す方針を固めた。全社勢の勢いで夜間や休日へ移行する方針が、十月上旬の村議選の導入を目指す。



### きょうの紙面

古墳観光 悩む地元  
 世界遺産候補に決まった大飯の古墳群。しかし大飯町は観光客の増加に悩んでいる。

産科医 過労自殺を認定  
 燃料電池トラックで配送  
 高校生、SNSいじめ提訴  
 夏海平和宣言へ宇宮移稿

### 産科医 過労自殺を認定

燃料電池トラックで配送  
 高校生、SNSいじめ提訴  
 夏海平和宣言へ宇宮移稿

### 「日報」きょう閉会中審査

陸自の日報隠蔽を巡り、きょう閉会中審査。稲田元防衛相の関与と同時に、口報がなご河正に保管されなかったか問われている。――②④面

### 初めて愛を知る男を表現

韓国で人ヒットしたドラマの日本版「ごめん、愛してる」に主演の長瀬智也さんが役づくりを語る。――①⑥面

### はかなさ 人生のように

半作菜の繊密な火薬の調合が、華やかではかなげな火花の表情を生む。福岡県みやま市の絨香花火。――⑩面

### ダウン症の店長「やっちゃん」

ダウン症の「やっちゃん」が夢をかなえて開いたカフェ。そこは常連、近所ら皆で運営する店。――⑩面

国際 ② スポーツ ②⑦⑧⑨  
 朱・商況 ④ 番組紹介 ④  
 小説 ⑧ 囲碁・将棋 ⑧

### 毎日新聞

1473年(寛文6年)創刊  
 〒780-0801 高知市東山町1-1  
 電話 087-821-1111  
 本社 〒780-0801 高知市東山町1-1  
 編集局 〒780-0801 高知市東山町1-1  
 印刷局 〒780-0801 高知市東山町1-1  
 〒780-0801 高知市東山町1-1

### 無敵

無敵の強さ  
 無敵の強さ

### 天気

10日	11日	12日
晴	晴	晴
16	18	20
10	11	12
10	11	12
10	11	12
10	11	12

## 喬木村会夜間・休日に

### 議員なり手不足、若手が立候補できる環境を

14日、政務村議会議長（定数二）が、一機西側を等分して議決した定例会の主権日権を夜間や休日に移す方針を固めた。全社勢の勢いで夜間や休日へ移行する方針が、十月上旬の村議選の導入を目指す。

### 12月定例会から方針

## 新幹線トンネル工事地盤沈下問題

### 中野市、第三者調査検討

中野市は、新幹線トンネル工事による地盤沈下問題について、第三者による調査を検討している。市は、地盤沈下の原因を調査し、適切な対策を講ずる必要があると判断している。

地盤沈下の原因を調査し、適切な対策を講ずる必要があると判断している。市は、地盤沈下の原因を調査し、適切な対策を講ずる必要があると判断している。



### この舞台

きょう土浦日大戦  
 大勢の観客が参加する舞台イベント。今年も多くの観客が参加し、大成功を収めた。

# 村長への提言前に新聞に掲載されました

## 人口少ない自治体の議員 なり手不足が深刻



平日午後の会議室に集った議員ら(日本農業新聞提供)

兼務の難しさ、議員報酬の少なさと、無関心…

自治体の議員報酬は、自治体の規模や人口によって異なる。人口が少ない自治体では、議員報酬が少額で、兼務が難しいとされている。議員報酬の少なさと、無関心な議員が増えているとされている。

自治体の議員報酬は、自治体の規模や人口によって異なる。人口が少ない自治体では、議員報酬が少額で、兼務が難しいとされている。議員報酬の少なさと、無関心な議員が増えているとされている。

### 夜や休日に審議へ

議員報酬の少なさと、無関心な議員が増えているとされている。議員報酬の少なさと、無関心な議員が増えているとされている。

### 総務省 法改正視野に検討

総務省は、人口減少が進む自治体の議員報酬をめぐり、法改正の検討を進めている。議員報酬の少なさと、無関心な議員が増えているとされている。

### 巨大・変形果 野菜彫刻に



### 高山市の料理長 心癒やして

高山市の料理長は、心癒やして料理に励んでいるとされている。料理長の心癒やして料理に励んでいるとされている。

## 会期・開会時刻・委員会運営の検討(試行)

- ①大幅な会議の延長や開催日数の増は、かえって議員と対応する職員の負担になるため、現状の運営スケジュールの変更はしない。(以下のとおり)
- ②会期は現状の概ね16日間から20日間で変更はしない。  
(月初・月末の繁忙期を考慮して会期の延長は行わない。)
- ③本会議は開会、一般質問、閉会それぞれ1日、の3日間で変更はしない。平日・休日の会議時間は午前9時から午後5時までとし変更しない。

## 会期・開会時刻・委員会運営の検討(試行)

- ④本会議のうち、一般質問を土日のどちらかで開催を計画する。開会日・閉会日の会議終了後、全員協議会を開催しているが、今後夜間開催できないか検討する。
- ⑤常任委員会は平日の夜間開催を基本に運営することとする。予算決算常任委員会については、3月(当初予算)、9月(決算)には概ね2日間を要することから、平日の開催を予定しているが、6月及び12月については原則会議は夜間実施する。ただし、付託議案の件数、請願陳情で慎重な審査を要すると委員長が判断した場合は、平日実施する。以上のとおり弾力的な委員会運営を行う。



## 議会運営上の工夫・改善（試行）

- ①議員協議会や議会運営委員会の会議進行について、議員活動報告等に時間をかけずメール及び回覧で対応する。会議次第を作成するにあたっては、報告時間、協議時間を予め定めて議事運営を行う。
- ②議案審査が十分できるように、議案の配布にあわせて詳細な補足説明資料を求めることができる。（9月定例会より試行）
- ③初歩的な質問は事前に担当課へ回答を求め回答集を議員に配布し情報共有する。（9月定例会より試行）
- ④委員会日程を、調査研究が十分できるような委員会日程に変更する。（12月議会から試行）

月	日	曜日	時間	議会関係	備考
11	17	金			招集告示（一般質問通告開始）
	18	土			
	19	日			
	20	月			
	21	火			議案提出・請願陳情提出期限
	22	水			
	23	木			
	24	金	9:00	議会運営委員会（議案配布）	19:00議員全員協議会
	25	土			
	26	日			
	27	月	9:00	定例監査	広域連合議会
28	火			全国治水砂防促進会議	
29	水			全国町村長大会	
30	木				
12	1	金	9:00	企画調整会議	10:00 稲葉クリーンセンター竣工式
	2	土			
	3	日			
	4	月	9:00	本会議（開会）	全員協議会・議員全員協議会（一般質問提17:00まで） 13:00シルバー人材センター懇談会
	5	火			一般質問通告修正締切（11:00まで）
	6	水			
	7	木			
	8	金	19:00	予算決算委員会審議	
	9	土			
	10	日			
	11	月	9:00	一般質問検討会	
	12	火			
	13	水			15:00定例選挙管・16:00竜水苑連絡協議会
	14	木	19:00	社会文教委員会	
	15	金	19:00	総務庶建委員会	
	16	土	9:00	本会議（一般質問）	予算決算委員会審議・議会運営委員会（予備）
17	日				
18	月	19:00	常任委員会（予備）	町村会連合会議	
19	火	9:00	本会議（閉会）	全員協議会・議員全員協議会	
20	水				
21	木				
22	金				
23	土				
24	日				
25	月			13:30 村長選立候補予定者説明会 選挙管理委員会	
26	火	9:00	定例監査	財産区議会	

## 12月定例会の日程

11月24日 議案配布

12月 4日 開会・全員協議会

12月 8日 予算委員会

12月14日 常任委員会

12月15日 常任委員会

12月16日 一般質問・予算委員会

12月18日 常任委員会（予備日）

12月19日 閉会・全員協議会



# 夜間・休日議会の導入のメリット

- ①議員が活動できる時間帯、日程を把握することで柔軟な議会運営日程を計画することができ、議員のなり手となる者の幅が広がることが期待できる。
- ②議事運営の効率化が図られる。議論、討論が中心になり議員のスキルアップが図られる。
- ③夜間・休日議会の実施は、理事者、一般職員の平日の勤務時間帯が議会により拘束されることがなくなるため、職員不在によるサービス低下の軽減に繋がる。

# 夜間・休日議会の導入のメリット

- ④傍聴の機会が増える。傍聴者が多い時は緊張感が生まれ、質疑、討論とも活発になることが期待される。
- ⑤働き方改革の推進に寄与すると共に、議会活動に理解ある雇用主を何らかの形で公表できれば、企業イメージ向上と議員を目指す方への雇用促進に繋がる。

## 9月4日「開かれた議会実現のための提言書」を市瀬村長へ提出



提言内容は夜間・休日議会の実施含む議会改革6項目

## 9月4日「開かれた議会実現のための提言書」を市瀬村長へ提出



夜間・休日議会の実施含む6項目について説明

# 「開かれた議会実現のための提言書」

①休日夜間議会の実施について

②任期満了に伴う新教育長の選任について

③開かれた議会実現のための議員控室の活用について

④議会ホームページの環境整備について

⑤議員研修費について

⑥会議資料における省資源化の取組について

## 9月5日定例会終了後全員協議会



9月5日定例会初日の全員協議会の冒頭で休日夜間議会実施にあたり、提言書提出についての説明及び理事者・課長に再度実施のご協力について依頼。





# 喬木村職員組合との協議



平成29年9月8日 喬木村職員組合総会に出席し、夜間・休日議会について協力を願った。(正副議長・議会運営委員長)



## 9月22日定例会最終日終了後全員協議会



平成29年9月22日 9月定例会最終日全員協議会において市瀬村長より休日・夜間議会含めた議会の提言書について回答書の提出があり、議会の意向に沿って12月定例会から休日・夜間議会の開催が決定となった。

# 休日・夜間議会導入にかかる経費の検討

- ①議員の会議出席に係る費用弁償はないため、費用増の見込みはない。
- ②議会对応する職員の人件費(超過勤務手当)が必要となる。
  - 超過勤務手当・代替休暇により対応
- ③今後事前の情報共有、意見交換等が図れるツールとして、また議会改革の柱としてICTを活用するためには、整備費用が必要である。
  - 議員全員PCメールを取得し、事務局からのメールで対応

## 10月10日江藤教授訪問調査に来村し「地方議会人」に掲載されました



平成29年10月10日  
総務省「町村議会の在り方に関する研究会」有識者である山梨学院大学の江藤俊昭教授が来村し、「休日・夜間議会」の取り組みについて聞き取り調査を行い、意見交換した。

懇談の内容は、「地方議会人11月号」35ページから38ページにかけて掲載されましたのでご確認ください。

## 夜間・休日議会の導入に対する住民からの意見 ～議会シンポジウム・議会報告会～

- ①一般質問を原則休日実施することについて、議会モニターからは歓迎される意見が多数寄せられている。
- ②夜間開催が時間の制約に繋がり十分な議論ができるか心配の声もある。
- ③2時間以内で終了しなかった場合、どうするのか。
- ④全日程を夜間実施するのか。

# 夜間・休日議会の導入の課題

- ①議案審議には事前準備が必要である。会議の時間配分、議員の情報共有、議員のスケジュール調整が必要である。
- ②夜間会議は会議時間が限られ議事運営が難しくなる。時間内で審議が終わらない場合の日程調整が難しくなる。
- ③事務局書記は囑託であるため、事務局体制には負担になる。夜間・休日実施の場合の対応についても労働条件変更と体制整備が必要である。
- ④議員の雇用主の理解を得る必要がある。



## 11月6日 総務省自治行政局行政課に要望書を提出・意見交換



平成29年11月6日 地元国会議員、総務省自治行政局行政課を訪問。野田総務大臣宛に「地方議会の活性化に向けた要望書」(別紙参照)を提出しました。新聞報道以降関心を寄せていただいている事もあり、夜間・休日議会の取り組み状況や「町村議会のあり方に関する研究会」(資料別紙)の進展と方向性について意見交換しました。

## 今後の夜間・休日議会の方向性

- ①議員の就業状況含めた状況把握が必要。兼業議員の職種が様々であり繁忙期も異なる。雇用主だけでなく家族の同意が必要となる。大川村議会によるアンケート調査結果は今後喬木村議会にとっても検討課題と捉えている。(資料参照)  
アンケート調査を実施し研究する。(資料参照)
- ②兼業が成り立つためには、夜間休日議会だけでなく、「通年議会」も研究し、実情にあった議会運営を研究する。
- ③傍聴者増加に対応した「わかりやすい議会」の工夫が必要であることから、議会・委員会審議の流れ等説明資料を配付する。

## 今後の夜間・休日議会の方向性

- ④委員会等全て2時間で内容の濃い議論深められるか、自由討議の時間をどれだけ確保できるか。司会者がキーマンになることから、事前準備と資質をいかに向上させるか常に検証する。
- ⑤本会議(初日・最終日・全員協議会)の在り方について、夜間開催できないか試行する中で研究していく。
- ⑥議会活動に協力的な雇用主を支援する仕組みについて研究するとともに必要あれば提言活動を行う。



やる気！げん気！いきいき！

たかぎ！！



ベリー&ゴー

ご静聴有り難うございました